

1 学力向上に関わる強み・弱み (H30学・学調査より)

○家族・地域との関わりが比較的深い。地域の行事には、よく参加している。

○家庭学習では、教科書を利用し自主学習を進めている。

○理科学習を大事にし、集中して取り組むことができている。

▲書くこと、読むことに弱さが見られる。

▲主語と述語の関係を捉え、根拠となる事柄を明らかにして論理的に説明することに課題がある。

▲算数科における「関心・意欲」が全国に比べ低く、粘り強く課題解決に向かう児童の割合が少ない。

2 めざす子どもの姿

・「これだけは目標」(ミニマムターゲット)を身につけた子ども

・目的に応じた書く力を持った子ども

・張りのある声で音読できる子ども

・読書する子ども

・自らの考えを討論を通して広め、深める子ども

・多様な意見を認める子ども

・自ら問題解決できる子ども

・学びを生活に活用できる子ども

本校の「学力」のとらえ方

A 基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得

B 思考力・判断力・表現力(活用力・探究力)

C 学習意欲・学習習慣

基本的な生活習慣の確立(おにぎりがおいしいこと)、集団づくり、保護者・地域との協働的な子育て(家庭学習の手引・地域資源)

3 学力向上への具体策

A きめ細かなボトムアップ

- (1) 「これだけは目標」(ミニマムターゲット)の設定・手立ての策定と共有化
- (2) 評価・研修・学習のシステムの構築、指導法研究(校内研究)・指導力向上研修・授業のルーブリックの設定
- (3) わかる・できる授業<授業のユニバーサルデザイン化 「簡単」「快適」「柔軟」「安心」な環境・授業>
- (4) 定点観測(6月)、単元末テスト、学び確認テスト(12月)等による実態把握ときめ細かなフォローアップ<ぐんぐんタイム・夏の補習・放課後の補習・ふれあい学び教室>
- (5) 音読・暗唱の充実<百人一首、詩文>
- (6) 視写・聴写の充実
- (7) 読書の充実<読書環境の整備、朝読書、読書貯金箱、家庭読書、市立図書館の活用>

B 思考力・判断力・表現力の伸長

- (1) 「主体的・対話的で深い学び」の推進
 - ・自らの考えを持ち伝え合い、討論する授業(校内研究)
- (2) 書く活動の充実<作文ミシュラン、教材の整備、ファイル化>
- (3) 地域の伝統・文化、自然に関する体験的な活動の充実<総合的な学習の時間、生活科、理科、社会科、クラブ活動>
- (4) プログラミング教育による「プログラミング的思考」力の育成・向上

C 和邇スタイルによる学習の構えの確立と学習意欲の創出

- (1) 学習用具・ノートの使い方(日付、定規で線、ていねいに)
- (2) 学び方<聞き方の「あいうえお」 話し方の「あいうえお」>

4 評価・検証

- 本改訂を受けて、学びづくり部会(毎月)・学力向上委員会(毎学期)での検証と改訂
- 「全国学力・学習状況調査」「定点観測」「単元末テスト」「学び確認テスト」「学校評価」等を活用
- 校内研究会等での授業を通じた研究及び考察、評価